

ナク炭坑又ハ太ク短ク生産スルニ宜ク炭坑又ハ細ク長ク使ハレテ存スル爲メ
 六地至野小作人多ク炭坑ナキニ福石郡下ニハ先以テ大川彌漫セリ故ニ福岡縣ハ
 炭坑多敷ニシテ田川縣手遠賀等ハ炭山又炭山ニシテ交通ノ便多キニ
 居リ又田地ノ如キモ炭坑多ク山林多キトハ同日ノ論ニ非ズルニ依ルモノ
 ナルモ勤除弊ノ蓄ト忍耐カニ富ムノ美風ハ封建時代ヨリノ遺風ノ異ナル
 モノカ縣民性ノ相違ニシテ力甚シク炭坑多ク人士ノ美風ト云フベキナリ、

(10) 坑夫ノ疾病ト傷害ノ多ク
 衛生状態ハ設備上甚シクモナキテ良好チ傷害ニ極メテ少ナシ

(11) 大正十年三月中ノ金銀産出額
 平均一日鑛石ノ採掘高ハ一車百貫入(六百斤)八十車即チ八千貫ニシテ
 一月二十四万貫、鑛石中ノ^{精化}金七貫四中甸ト揚銀金貳萬貳計産
 貫部百中甸價格産金五円二角六分或百円之ニ銀産出高四萬七百
 中甸一甸時價於六錢五分七百六分中甸計美合計約七千四百ニ相當スル金